

発行 **大竹辰治事務所**

日本共産党 区議会控室

大田区蒲田5-13-14

電話 5744-1477

事務所 大田区西蒲田5-9-12

電話 3735-2611

自宅 大田区東矢口3-11-19

電話 3736-4202

E-mail:tootake@apricot.ocn.ne.jp

http://tootake.jcp-ota.jp/

日本共産党大田区議会議員

大竹辰治

ミニレポート

ご意見・ご要望をお寄せください



**多額の税金投入の新空港線は廃止・撤回へ
子育て安心の大田区へ抜本的対策を**

第2回定例会で、大竹区議が質問しました。

まず、新空港線「蒲蒲線」について「前答申から16年にもなるが、依然として整備・営業主体が確立していない路線であり、こんな見通しのない路線に多額の税金を投入する計画は、廃止・撤回すべき」と求めましたが、早期着手に向けて、今後取り組みを強化していくと答えました。

次に、子育て安心の大田区へ抜本的対策を提案しました。「4月1日の待機児童数が229人となり、認可保育園第2次申し込みでの不承諾児童から、995人の保



護者が育休の延長等となり、今後の対策からも調査を行うべき。また、認可保育所不承諾の児童1884人を待機児として認可保育所の増設を求める。さらに、3歳の転園に不安の声が広がっている。不安対策にも応えるよう増設を行うべき」と求めました。

子ども家庭部長は「引き続き、待機児童解消に取り組む。整備計画は、育児休業延長、特定の保育園希望者などの状況確認等を分析し検証している。また、3歳児対策として、認可保育所の新設など

により、施設間の連携を図っていく」と答えました。

次に「保活の支援のため、認可・認可外保育所の管理の一元化を」の求めに、「施設により選考方法

法律相談

顧問弁護士による法律相談です。
お気軽にご利用ください(毎月第2水曜日)

7月13日(水)

午後1時~3時

場所 大竹辰治事務所(西蒲田大城通り)

事前にお電話ください ☎ 3735-2611

《常任委員会》

☆総務財政委員会

委員 **大竹辰治**

委員 福井亮二

☆地域産業委員会

委員 藤原幸雄

委員 黒沼良光

☆保健福祉委員会

委員 清水菊美

委員 金子悦子

☆都市整備委員会

委員 菅谷郁恵

☆こども文教委員会

委員 佐藤 伸

委員 荒尾大介

☆議会運営委員会

委員 清水菊美

委員 黒沼良光

《特別委員会》

☆オリンピック・パラ

リンピック観光推進

委員 黒沼良光

委員 荒尾大介

☆交通臨海部活性化

委員 **大竹辰治**

委員 菅谷郁恵

☆羽田空港対策

委員 清水菊美

委員 藤原幸雄

☆防災安全対策

副委員長 金子悦子

委員 佐藤 伸

委員 福井亮二

が異なるため区の管理を一元化は困難」と答えました。

次に「保育士の労働条件の改善、保育の質の確保のため、低賃金、不安定雇用の民間委託をやめるべき」との問いに、「多様な保育ニーズに応える有効な手段とし、今後も適正に進める」と答えました。

最後に「児童福祉法の改正を受け、児童相談所の円滑な移管に向け都との調整や人的、財政的対応の整理が必要。早急に体制整備を行うべき」との求めに、「速やかに『移管に向けた準備を進める』と区の方針を決定し、様々な課題を検討する」と答えました。



大竹区議 総務財政委員、交通臨海 部活性化特別委員に

5月22日、大田区議会は臨時議会で各委員会の構成が変更になり、大竹辰治区議は、総務財政委員、交通臨海部活性化特別委員になりました。

大竹辰治区議 議員在職25年表彰



第2回定例会2日目に、大竹辰治区議の議員在職25年の表彰が行われました。以下大竹区議のお礼のあいさつです。

議員在職25年表彰に当たり、一言お礼の挨拶をさせていただきます。

本日はこのような場を持っていただきありがとうございます。また、25年間もの長い間、区議会議員としての職を続けさせていただけましたのも、支援者の皆様方のおかげであり、同様にこの議場におられる区議会議員の皆様や先輩議員の皆様のご協力があったからであります。心より厚くお礼を

申し上げます。さらに、区長をはじめ幹部職員の皆様・職員の皆様にもお礼を申し上げます。在職して25年になりましたが、今から思うと長いようで短い25年間でした。私が当選した1991年は、失われた10年から20年、今では30年と言われる、はじまりの年です。日本の経済が、バブルが崩壊し、右肩上がりから低成長期へと大きく転換された時期になりました。

大田区も、この年を前後して、基金は財政基金の取り崩しで減少に転じ、特別区債が地方債の大量発行で増加の一途をたどりました。このような財政状況の中でも、区民のくらし第一にと、自治体の本来の役割を求めてきたこと。また、議会と行政は車の両輪でありますが、行政をチェックする議会の役割を果たし、議会の権能を強化するためにも微力を尽くさせていただきましたことに、いささか自負しています。議会は言論の府といわれるように、議会活動の基本は言論であっ

て、言論には言論で、決して力によって押さえつけるものではありません。また意見が違うからといって、これまた力によって押さえつけるものでもありません。どんな問題でも、すべて言論によって決定されるのが議会の真の在り方です。

大田区政には引き続き課題が山積しております。今後とも微力ではありますが、主権者である区民の幸せの実現のための大田区を築きあげていくために、全力で努力を続ける所存です。

今後とも、ご指導、ご鞭撻を心からお願いいたします。お礼のあいさつとさせていただきます。本日はまことにありがとうございます。

